

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 1	1	0.08	0.07	0.09
	2	0.09	0.08	
	3	0.08	0.08	
	4	0.08	0.08	
	5	0.09	0.09	
	6	0.09	0.09	
	7	0.08	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.10	0.10	0.10	H25. 4. 1
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.16	0.08	0.08	0.10	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 2	1	0.07	0.07	0.09
	2	0.08	0.07	
	3	0.08	0.09	
	4	0.08	0.08	
	5	0.08	0.08	
	6	0.08	0.07	
	7	0.07	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.09	0.10	0.08	H25. 4. 2
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.11	0.08	0.10	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 3	1	0.09	0.08	0.08
	2	0.07	0.08	
	3	0.08	0.08	
	4	0.09	0.08	
	5	0.08	0.08	
	6	0.09	0.08	
	7	0.09	0.08	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.09	0.09	0.09	H25. 4. 3
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.14	0.08	0.09	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 4	1	0.07	0.08	0.09
	2	0.07	0.07	
	3	0.08	0.08	
	4	0.08	0.08	
	5	0.08	0.07	
	6	0.07	0.08	
	7	0.09	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.10	0.09	0.09	H25. 4. 4
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.13	0.08	0.08	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。



## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 5	1	0.07	0.07	0.09
	2	0.07	0.07	
	3	0.06	0.06	
	4	0.07	0.06	
	5	0.07	0.07	
	6	0.07	0.08	
	7	0.08	0.08	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.09	0.09	0.08	H25. 4. 5
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.15	0.08	0.09	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 8	1	0.08	0.07	0.09
	2	0.07	0.07	
	3	0.08	0.08	
	4	0.08	0.07	
	5	0.09	0.08	
	6	0.07	0.07	
	7	0.07	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.09	0.08	0.09	H25. 4. 8
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.11	0.08	0.07	0.08	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 9	1	0.07~0.08	0.06~0.08	0.09
	2	0.07~0.08	0.07~0.09	
	3	0.07~0.09	0.08	0.08
	4	0.07~0.09	0.07~0.08	
	5	0.06~0.08	0.06~0.08	0.09
	6	0.07~0.09	0.07~0.08	
	7	0.07~0.09	0.07~0.08	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.09	0.09	0.08	
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.11	0.08	0.08	0.08	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H25.4.10	1	0.06	0.05	0.09
	2	0.07	0.06	
	3	0.07	0.07	
	4	0.08	0.08	
	5	0.07	0.07	
	6	0.07	0.07	
	7	0.07	0.08	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側(A)	溶融施設 南側(B)	溶融施設 西側(C)	溶融施設 北側(D)	測定日
展開検査 ヤード(E)	スラグピット 上部(F)	メタルピット 上部(G)	飛灰処理物 搬出場(H)	

※受入基準: (A)~(H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I)の3倍未満

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸(A)	外周道路 貯留堰堤側(B)	外周道路 左岸(C)	外周道路 上流(D)	測定日
0.09	0.10	0.10	0.09	H25.4.10
飛灰 埋立地点(E)	スラグ 埋立地点(F)	不燃物 埋立地点(G)	管理棟 玄関前(H)	
0.12	0.08	0.09	0.10	

※受入基準: (A)~(G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I)の3倍未満

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。



## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 11	1	0.07	0.07	0.09
	2	0.07	0.06	
	3	0.07	0.07	
	4	0.07	0.07	
	5	0.08	0.08	
	6	0.08	0.07	
	7	0.08	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.09	0.09	0.08	H25. 4. 11
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.11	0.07	0.09	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 12	1	0.08	0.07	0.08
	2	0.08	0.06	
	3	0.08	0.08	
	4	0.08	0.08	
	5	0.07	0.07	
	6	0.07	0.07	
	7	0.07	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.09	0.09	0.10	H25. 4. 12
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.11	0.08	0.09	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 3. 27	1	0.08	0.08	0.09
	2	0.08	0.08	
	3	0.09	0.09	
	4	0.09	0.08	
	5	0.08	0.08	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.09	0.09	0.09	H25. 4. 15
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.11	0.08	0.09	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 16	1	0.07	0.08	0.09
	2	0.08	0.08	
	3	0.09	0.07	
	4	0.09	0.08	
	5	0.08	0.08	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.10	0.09	0.08	
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.09	0.09	0.09	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。



## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 17	1	0.08	0.08	0.08
	2	0.08	0.08	
	3	0.08	0.08	
	4	0.08	0.08	
	5	0.09	0.09	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.09	0.09	0.09	H25. 4. 17
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.10	0.08	0.09	0.08	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 18	1	0.08	0.08	0.09
	2	0.07	0.08	
	3	0.08	0.07	
	4	0.07	0.07	
	5	0.08	0.07	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.09	0.10	0.08	H25. 4. 18
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.10	0.07	0.08	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 19	1	0.08	0.08	0.10
	2	0.08	0.08	
	3	0.08	0.09	
	4	0.08	0.08	
	5	0.09	0.08	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.08	0.09	0.08	H25. 4. 19
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.10	0.08	0.08	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 22	1	0.08	0.07	0.09
	2	0.08	0.08	
	3	0.08	0.08	
	4	0.08	0.08	
	5	0.09	0.07	
	6	0.07	0.07	
	7	0.07	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.09	0.10	0.08	H25. 4. 22
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.10	0.07	0.08	0.09	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。



## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 23	1	0.08	0.09	0.09
	2	0.08	0.08	
	3	0.08	0.07	
	4	0.08	0.08	
	5	0.08	0.09	
	6	0.07	0.07	
	7	0.07	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.09	0.09	0.07	H25. 4. 23
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.10	0.10	0.08	0.07	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 24	1	0.08	0.08	0.09
	2	0.08	0.08	
	3	0.08	0.08	
	4	0.08	0.08	
	5	0.07	0.08	
	6	0.07	0.08	
	7	0.07	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.08	0.09	0.08	
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.09	0.08	0.08	0.08	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 25	1	0.08	0.08	0.08
	2	0.08	0.07	
	3	0.07	0.08	
	4	0.08	0.08	
	5	0.07	0.07	
	6	0.07	0.07	
	7	0.07	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.09	0.10	0.08	H25. 4. 25
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.09	0.07	0.08	0.08	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。

## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 30	1	0.07	0.08	0.08
	2	0.08	0.08	
	3	0.08	0.08	
	4	0.08	0.08	
	5	0.08	0.08	
	6	0.08	0.09	
	7	0.07	0.07	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.09	0.10	0.10	0.09	H25. 4. 30
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.12	0.10	0.09	0.10	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 ( $<23$ )	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 ( $<9$ )	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<4$ )	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 ( $<4$ )	不検出 ( $<5$ )	不検出 ( $<3$ )	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m<sup>3</sup>Nである。



## 災害廃棄物受入事業 受入施設放射線量等測定結果

(エコフロンティアかさま)

## 1 空間線量率 (受入コンテナ)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

搬入日		空間線量率		
		搬入車両左面 (A)	搬入車両右面 (B)	バックグラウンド
H25. 4. 26	1	0.07	0.07	0.008
	2	0.07	0.07	
	3	0.07	0.08	
	4	0.07	0.07	
	5	0.07	0.07	
	6	0.09	0.08	
	7	0.08	0.08	
	8			
	9			
	10			
	11			

※受入基準: (A) or (B)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$ 

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 2 空間線量率 (溶融処理施設周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

溶融施設 東側 (A)	溶融施設 南側 (B)	溶融施設 西側 (C)	溶融施設 北側 (D)	測定日
展開検査 ヤード (E)	スラグピット 上部 (F)	メタルピット 上部 (G)	飛灰処理物 搬出場 (H)	

※受入基準: (A) ~ (H)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

## 3 空間線量率 (最終処分場周辺)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$ 

外周道路 右岸 (A)	外周道路 貯留堰堤側 (B)	外周道路 左岸 (C)	外周道路 上流 (D)	測定日
0.08	0.09	0.09	0.08	H25. 4. 26
飛灰 埋立地点 (E)	スラグ 埋立地点 (F)	不燃物 埋立地点 (G)	管理棟 玄関前 (H)	
0.09	0.08	0.07	0.08	

※受入基準: (A) ~ (G)  $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$  又は (I) の 3 倍未満

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器 NaI シンチレーションサーベイメータ

#### 4 放射性物質濃度

測定項目	試料採取日	単位	放射性ヨウ素 I-131	放射性セシウム		
				CS-134	Cs-137	合計
ばいじん	H25. 3. 19	Bq/kg	不検出 (<23)	470	930	1,400
スラグ	H25. 3. 19		不検出 (<9)	26	50	76
放流水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<4)	不検出 (<4)	不検出
地下水	H25. 3. 13		不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出 (<5)	不検出
周辺 井戸水	H25. 3. 13		不検出 (<4)	不検出 (<5)	不検出 (<3)	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。また、( )内は検出下限値を表す。

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム		
			CS-134	Cs-137	合計
1号炉 排ガス	H25. 2. 21	Bq/m3N	不検出	不検出	不検出
2号炉 排ガス	H25. 1. 29		不検出	不検出	不検出

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

平成23年 環境省 廃棄物関係ガイドライン第五部「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※放射性セシウム濃度は排ガスを捕集したろ紙部及びドレン部それぞれの濃度の合計を表す。

※「不検出」とは、検出下限値未満を表す。

ろ紙部の検出下限値は1Bq/m3N、ドレン部の検出下限値は1Bq/m3Nである。